

(扱い)

テレビ・ラジオ	解禁日は特にありません
新聞	解禁日は特にありません

急激な水位上昇に伴う啓発看板の設置について(結果報告)

～市民の皆さんと一緒に考えた看板とアンケートで効果を検証しました～

平成21年12月 7日(月)
国土交通省 遠賀川河川事務所

1. 概要

平成20年7月28日に発生した局地的豪雨により、兵庫県都賀川で川遊びしていた小学生などが流され、5名(大人2人、子供3人)が死亡する事故が発生しました。

これを受け、国土交通省は、急激な水位上昇による水難事故の防止対策を実施することになりました。その対策の一つとして**啓発看板の設置**を遠賀川水系で実施しました。

遠賀川水系を利用して頂く皆さんに、急な増水に対する危機意識を高めて頂くため、**水難事故防止啓発看板案の作成や看板に関するアンケート調査及び看板の分かりやすさ等の検証**には「遠賀川流域住民の会」、「直方川づくり交流会」等の地域の皆さんのご協力を頂きました。

いただいたご意見は今後の水難事故防止啓発看板の作成にあたり、参考にさせていただきます。今回はその**アンケート結果について報告**します。(詳細は参考資料をご確認下さい。)

2. 主な結果

- 回答者数は**602名**であり、その**約9割が遠賀川流域の皆さん**であることから、**流域の皆さんの意見が反映**されています。(参考資料 質問3)
- 看板の**分かりやすかった点**として、「**水遊びの際に気をつけること**」、「**山の方で雨が降ったら、川が増水する可能性があること**」等があり、兵庫県都賀川のような**新たな災害パターンの危険性の周知**が出来たと思われまます。(参考資料 質問6)
- 看板の**分かりにくかった点**として、「**携帯電話などで雨量や川の水位の情報がわかること**」、「**文字の大きさ、見やすさ**」等があり、**携帯電話での情報発信の更なる周知、看板の大きさ、見やすさの改善**が必要です。(参考資料 質問7)
- 看板の**必要性は約9割の皆さんが必要と考えており、今回の看板設置は効果的**であったと考えられます。(参考資料 質問9)
- 雨や川の**情報を知るための便利な方法**として、「**サイレン**」、「**パトロールカー**」等があり、**過去からの提供手法が上位**を占めました。(参考資料 質問14)
- 自由意見として、**看板の大きさ、見やすさ、デザイン、子どもの理解度の向上、怖いイメージ、非難に役立つ情報の掲載希望**がありました。

お問い合わせ先

国土交通省 遠賀川河川事務所 河川環境課 (松永、武石)

〒822-0013 直方市溝堀1-1-1

TEL: 0949-22-1830 FAX: 0949-22-1834

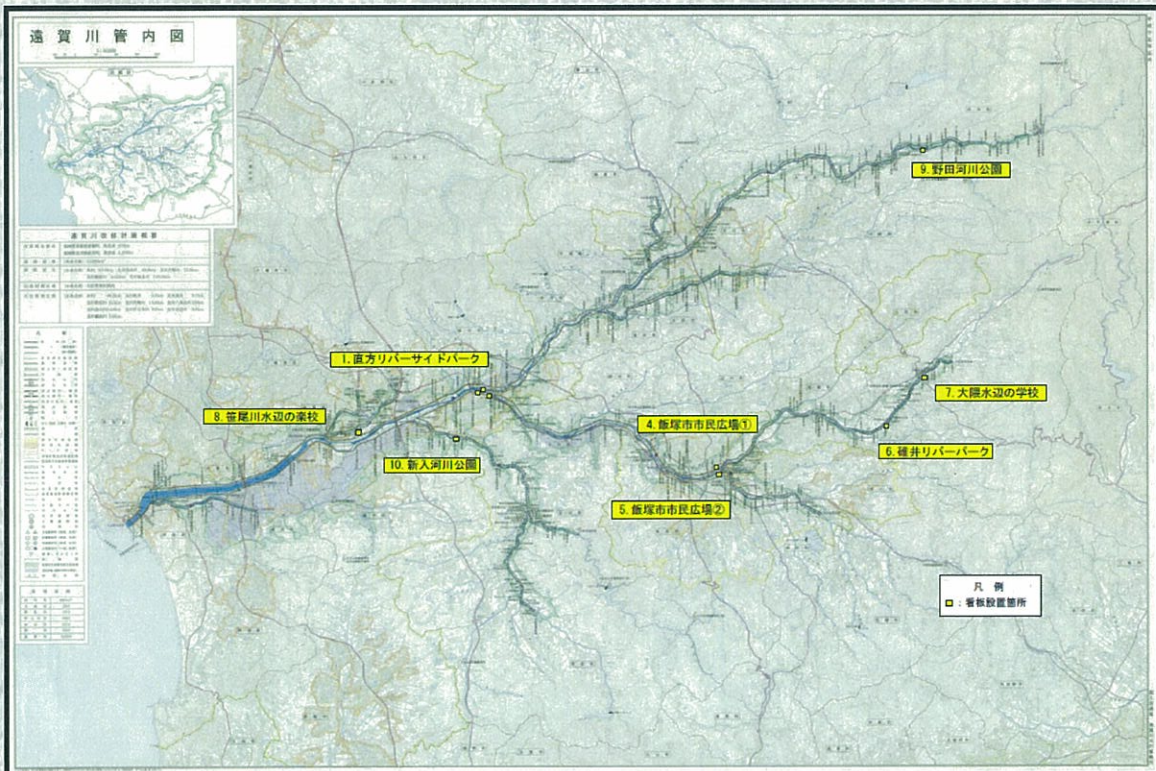
発表先

○直方記者クラブ ○田川記者クラブ ○飯塚地区 ○北九州市政記者室

アンケート結果

1-1. 看板設置箇所

No.	看板設置箇所	アンケート調査実施箇所	調査実施期間
1	直方リバーサイドパーク	遠賀川河川事務所	看板設置～平成21年10月13日
2		遠賀川水辺館	看板設置～平成21年10月18日
3		直方出張所管内	看板設置～平成21年8月9日
4		直方北小学校	看板設置～平成21年10月15日
5	飯塚市市民広場	飯塚出張所管内	看板設置～平成21年10月13日
6	碓井リバーパーク	碓井リバーパーク	看板設置～平成21年7月18日
7	大隈水辺の楽校	大隈水辺の楽校	看板設置～平成21年9月24日
8	笹尾川水辺の楽校	笹尾川水辺の楽校	看板設置～平成21年8月19日
9		中間出張所管内	看板設置～平成21年8月24日
10		河口堰	看板設置～平成21年10月18日
11	新入河川公園	宮田出張所管内	看板設置～平成21年9月24日
12		宮田（新入河川敷）	看板設置～平成21年8月19日
13	野田河川公園	田川出張所管内	看板設置～平成21年8月21日
14		田川後藤寺地区	看板設置～平成21年10月2日
15		田川伊田小学校	看板設置～平成21年10月14日



1-2. 看板デザイン



直方リバーサイドパーク

1-3. 地域の皆さんの協力



看板(案)、アンケート(案)を一緒に製作しました
(直方かわづくり交流会の皆さん)



看板の設置箇所を調査しました
(遠賀川流域住民の会の窪山さん)

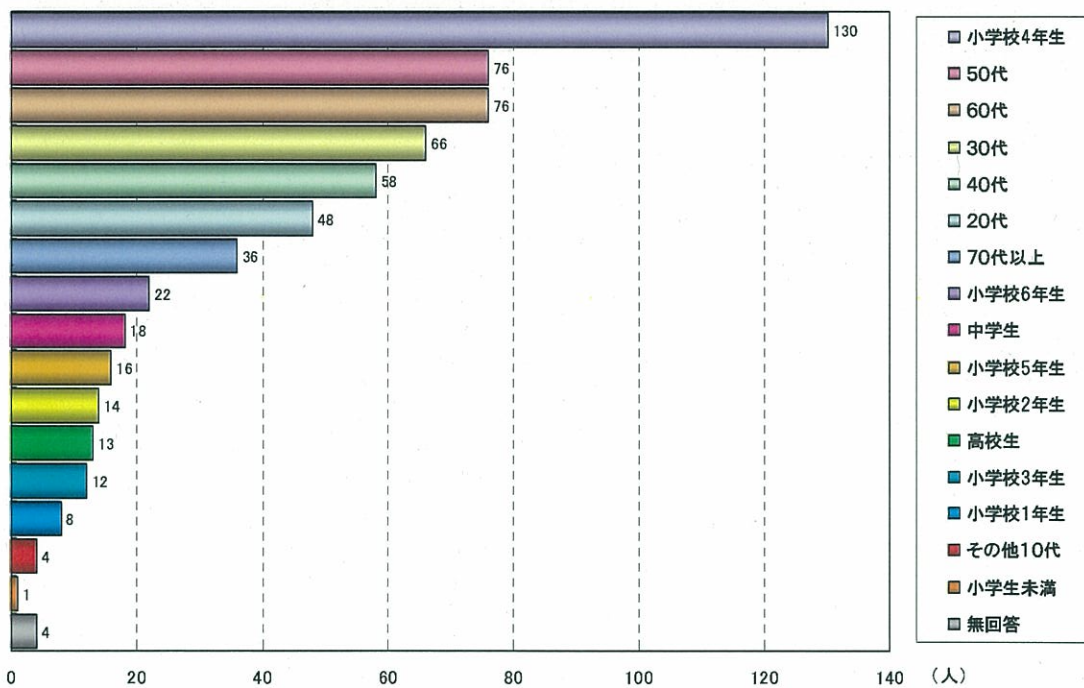
2. 調査結果（全回答者集計結果）

2.1 回答者の属性に関する質問

Q 1. あなたの年齢を教えてください。

「小学校4年生」130名、「50代」76名、「60代」76名、「30代」66名、「40代」58名、「20代」48名%、「70代以上」36名であった（有効回答数598）
小学校4年生が多いのは、小学校を対象としたアンケート調査において4年生が多かったためである。

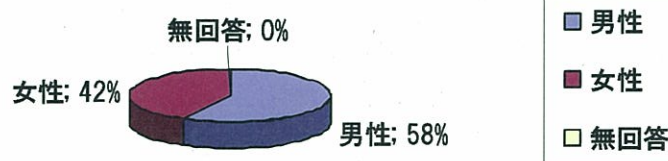
回答は小学生未満～70代以上の全ての年代から回答を得られている。



Q 2. あなたの性別を教えてください。

「男性」347名、「女性」253名、の計600名から回答頂いた。（有効回答数600）

男女構成比は約 男：女=3：2となっている。



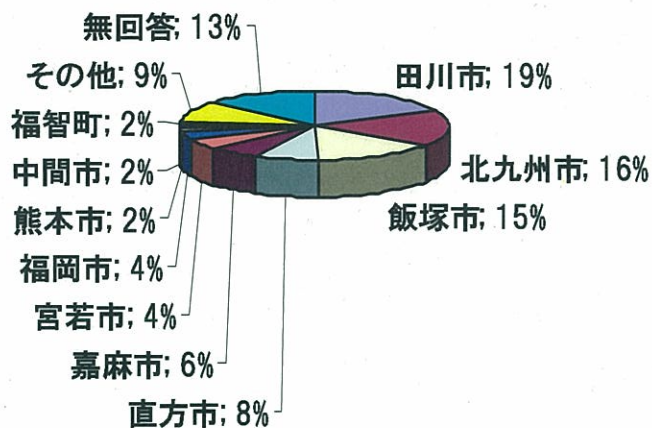
Q3. どこから来られましたか？

1. 全体の調査結果

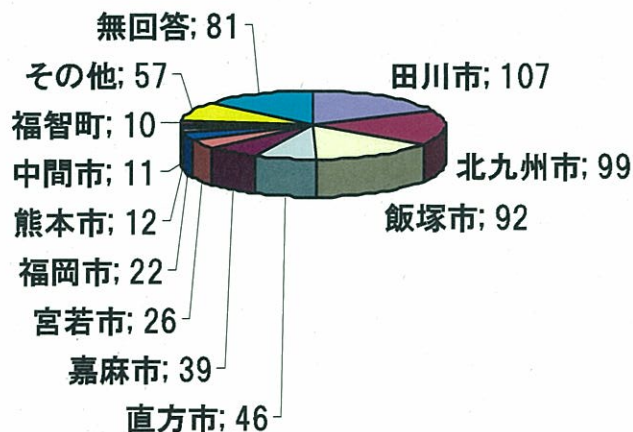
「田川市」107名、「北九州市」99名、「飯塚市」92名、「直方市」46名、「嘉麻市」39名、「宮若市」26名、「中間市」11名、「福智町」10名と、「田川市」が最も多かった。また、「無回答」は81名であった。(有効回答数521)

回答者の約9割(459名)の方が流域内の市町村に居住しており、流域住民の意見が反映されていると考えられる。

[市町村別;割合(%)表示]



[市町村別;回答者数(人)表示]

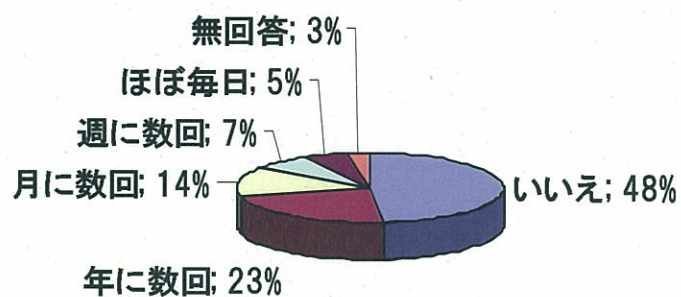


その他の内訳		回答者数 (人)	
福岡県内	小竹町	6	
	糸田町	4	
	大隈町	4	
	長崎市	4	
	香春町	3	
	桂川町	3	
	遠賀町	2	
	流域内	鞍手町	2
		水巻町	2
		大任町	1
川崎町		1	
赤村		1	
穂波町		1	
福岡県外		宗像市	5
	久留米市	3	
	那珂川町	2	
	福津市	1	
流域外	小郡市	1	
	朝倉市	1	
	筑紫野市	1	
福岡県外	神崎市	1	
	宇城市	1	
	佐世保市	1	
九州外	鹿児島市	1	
	防府市	1	
	大阪市	1	
	京都市	1	
九州外	東京都	1	
	埼玉県	1	
計		57	

Q 4. 遠賀川はよく利用されますか？

「いいえ」 285名、「年に数回」 134名、「月に数回」 83名、「週に数回」 40名、「ほぼ毎日」 31名、「無回答」 17名と、「いいえ」が最も多かった。日常的に利用（ほぼ毎日～月に数回）される方の中では「月に数回」が最も多かった。（有効回答数573）

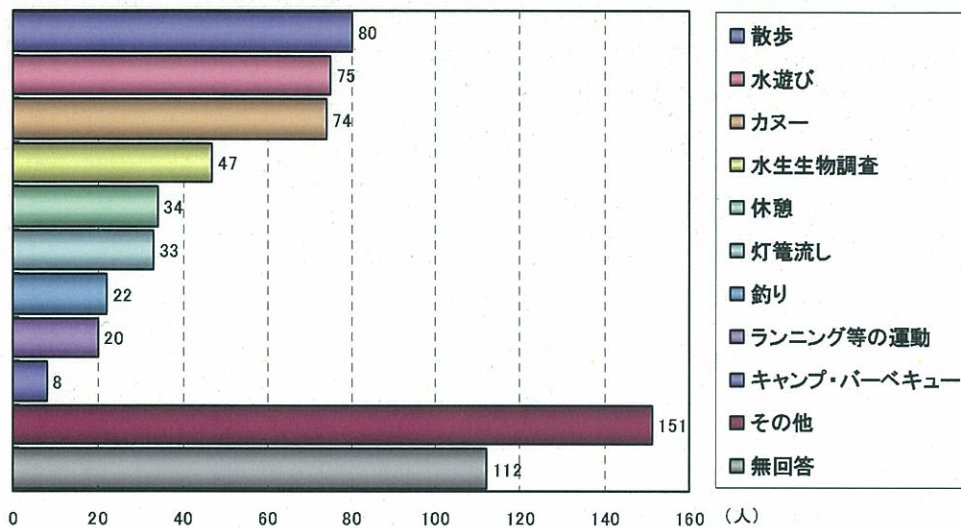
回答者の約3割の方が遠賀川をよく利用しており、約7割の方が日常的な利用ではない。



Q5. 今日どんな目的で遠賀川にいられましたか？（複数回答可）

「散歩」80名、「水遊び」75名、「カヌー」74名、「水生生物調査」47名、「休憩」34名、「灯籠流し」33名、「釣り」22名、「ランニング等の運動」20名、「キャンプ・バーベキュー」8名、「無回答」112名と、「散歩」が最も多かった。（有効回答数544）

「その他」の回答のうち、7割以上がイベントによる利用であった。



「その他」と回答したのは全体で305名であった。「カヌー」、「水生生物調査」、「灯籠流し」については回答数が多いため、利用目的の一項目として記載した。グラフ内の「その他」151名は「カヌー」、「水生生物調査」、「灯籠流し」と回答した方以外の人数である。

「その他」と回答した305名の内、イベントによる利用者は226名であり、「その他」と回答した方の7割以上がイベントによる利用であった。次ページに、「その他」の具体的な回答を示す。

2.2 看板に関する質問

Q6. この看板のわかりやすかった点を教えてください。(複数回答可)

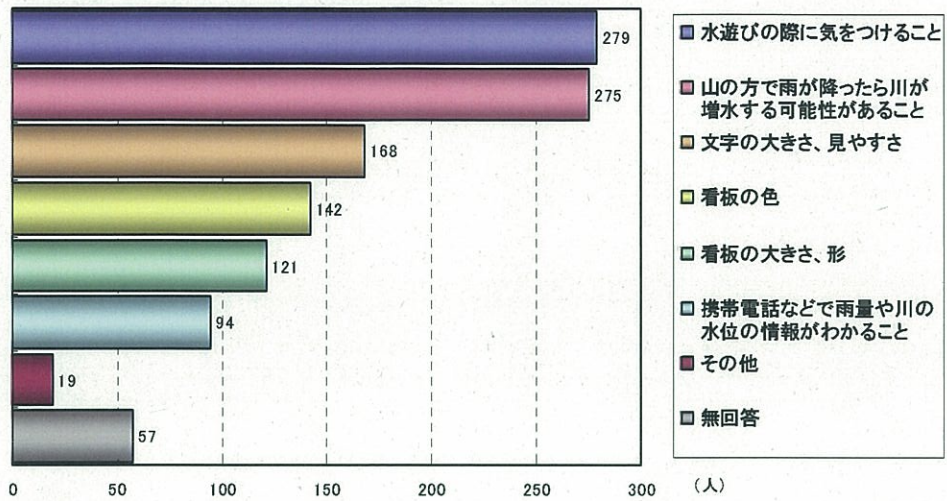
「水遊びの際に気をつけること」279名、「山の方で雨が降ったら川が増水する可能性があること」275名、「文字の大きさ、見やすさ」168名、「看板の色」142名、「看板の大きさ、形」121名、「携帯電話などで雨量や川の水位の情報がわかること」94名、「その他」19名、「無回答」57名と、「水遊びの際に気をつけること」が最も多かった。(有効回答数1098)

Q7. この看板のわかりにくかった点を教えてください。(複数回答可)

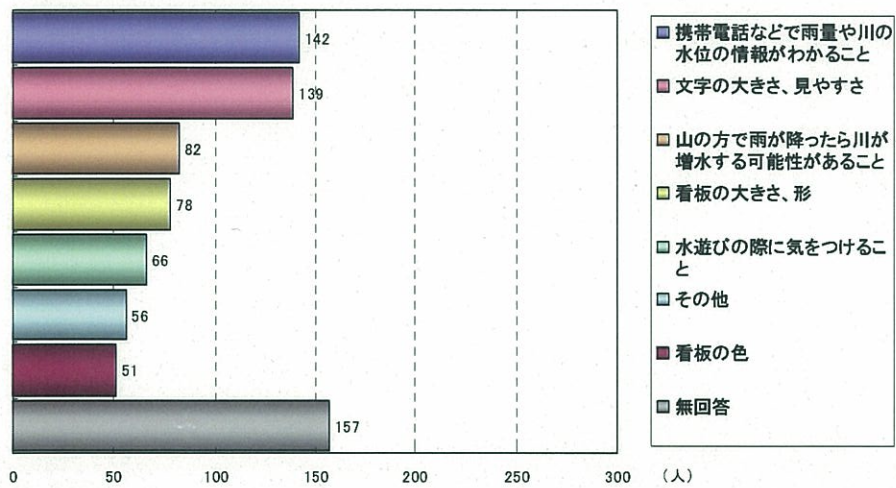
「携帯電話などで雨量や川の水位の情報がわかること」142名、「文字の大きさ、見やすさ」139名、「山の方で雨が降ったら川が増水する可能性があること」82名、「看板の大きさ、形」78名、「水遊びの際に気をつけること」66名、「その他」56名、「看板の色」51名、「無回答」157名と、「無回答」を除くと「携帯電話などで雨量や川の水位の情報がわかること」が最も多かった。(有効回答数614)

- 看板に大きく「急な増水に注意しましょう」と記載したことから、「水遊びの際に気をつけること」や「山の方で雨が降ったら川が増水する可能性があること」についてわかりやすいとの回答が多かったものと考えられる。
- 「携帯電話などで雨量や川の水位の情報がわかること」に対する回答が最も多かった。理由としては、看板に掲載しているサイズが小さいことと、接続先の情報サイトの名称とQRコードの記載のみであり、内容を伝えるためのデザインまたは文が少なかつたためと考えられる。
- 「文字の大きさ、見やすさ」についてはどちらの質問でもほぼ同数の回答を得ており、今後表記の仕方に検討が必要である。

[質問6「この看板のわかりやすかった点を教えてください」の調査結果]



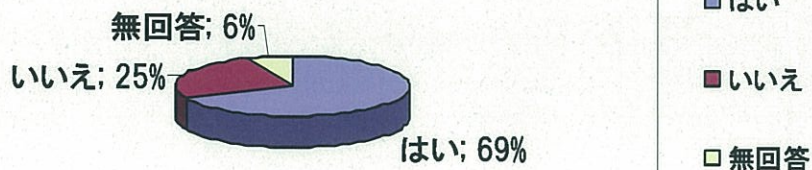
[質問7「この看板のわかりにくかった点を教えてください」の調査結果]



Q8. 他の人が川遊びにきたら、この看板に気付くと思いますか？

「はい」412名、「いいえ」152名、「無回答」38名であった。(有効回答数564)

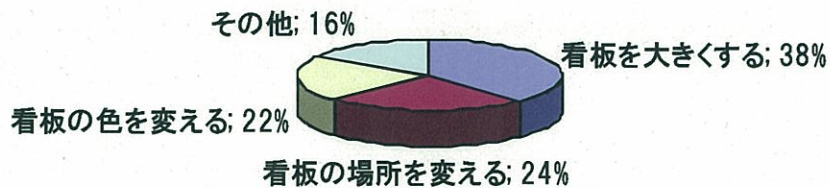
回答者の7割以上が看板の存在がわかりやすいと回答する一方で、約3割の方が、看板の存在に気付きにくいと感じている。



※「いいえ」と答えた方は、どうすれば気付きやすくなると思いますか？(複数回答可)

「看板を大きくする」72名、「看板の場所を変える」46名、「看板の色を変える」41名、「その他」30名と、「看板を大きくする」が最も多かった。(有効回答数189)
また、「その他」の意見として看板の数を増やすという意見が多かった。

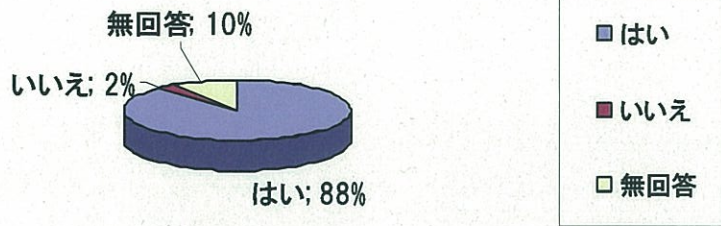
「看板を大きくする」、「看板の場所を変える」、「看板の色を変える」すべての回答が多い。「看板の場所を変える」が多かったのは、現在の看板設置箇所他により河川利用者が多い箇所があるのではないかと推測される。



Q9. このような看板があった方がよいと思いますか？

「はい」 527名、「いいえ」 14名、「無回答」 59名であった。(有効回答数541)

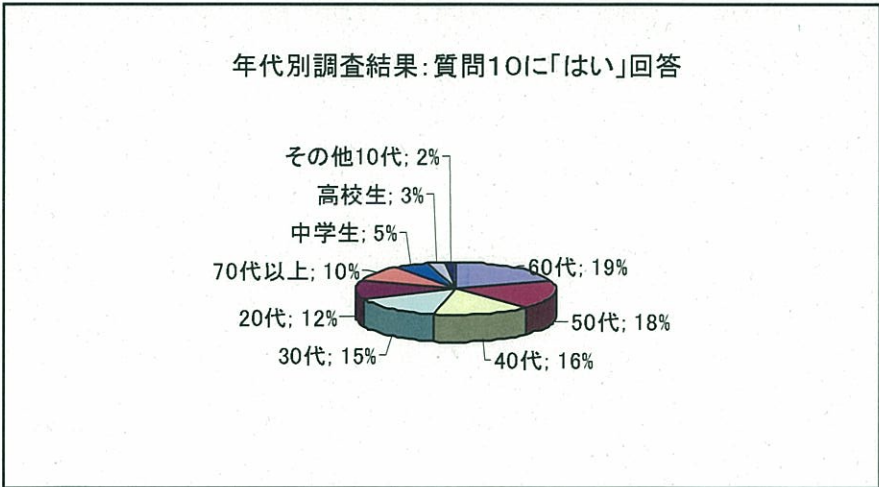
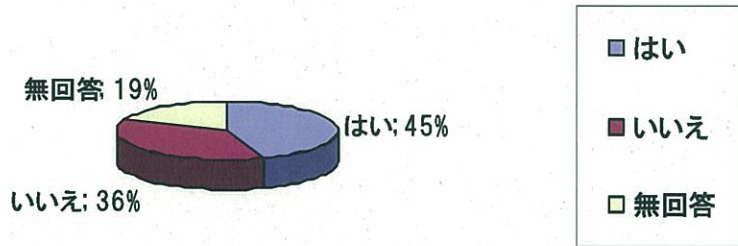
看板の必要性、水難事故防止の啓発活動に対して約9割の方が肯定的である。



Q10. この看板に書いてあるQRコード（携帯電話で読み取るバーコード）を使って河川に関する情報を知りたいと思いますか？（大人のための質問）

「はい」 175名、「いいえ」 142名、「無回答」 75名であった。(有効回答数317)

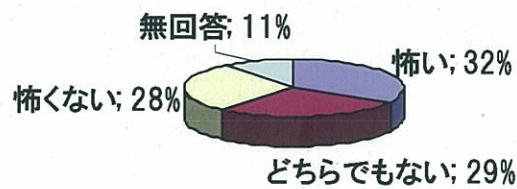
回答の割合がほぼ1:1となっている。20代～60代でQRコードを利用したいと回答している方が多く、どの年代でも利用されることが期待される。



Q11. この看板を見て、川で遊ぶことが怖いと思いましたか？

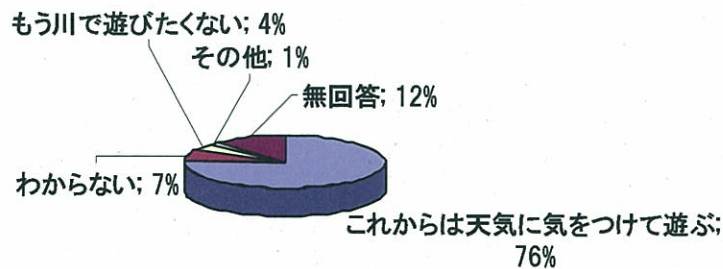
「怖い」197名、「怖くない」172名、「どちらでもない」168名、「無回答」64名と、「怖い」が最も多かった。(有効回答数537)

全回答の割合がほぼ同程度となっており、「怖い」と回答した方の約8割が次の質問で「これからは天気気に気をつけて遊ぶ」と回答しており、怖さを知ったうえで河川を利用してもらう点でこの看板は効果があるといえる。



※「怖い」と答えた方は、これからどうするか教えてください。

「これからは天気気に気をつけて遊ぶ」154名、「分からない」14名、「もう川で遊びたくない」8名、「その他」3名、「無回答」24名と、「これからは天気気に気をつけて遊ぶ」が最も多かった。(有効回答数179)



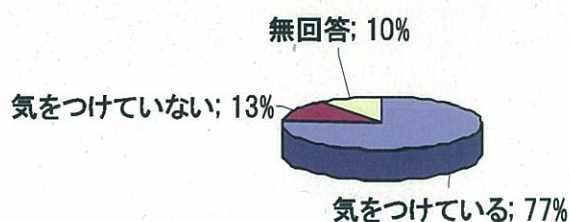
2.3 水難事故に関する質問

Q12. 川で遊ぶとき、天気の変化に気をつけていますか？

「気をつけている」452名、「気をつけていない」80名、「無回答」61名と、「気をつけている」が最も多かった。(有効回答数532)

また、「そもそも川で遊んでいいんですか？」という回答が本質問に対する意見として挙げられていた。

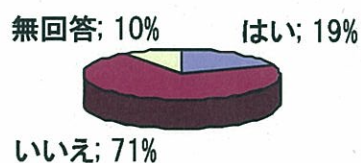
約8割の方が「気をつけている」と回答しており、河川利用時は天気の変化に注意を払っている方が多いことが分かる。



Q13. 今まで、遊んでいて、急な増水などを目撃したことや経験したことはありますか？

「いいえ」433名、「はい」115名、「無回答」58名と、「いいえ」が多かった。(有効回答数548)

約2割の方が急な増水を目撃しており、水難事故が発生する可能性は比較的高いといえる。

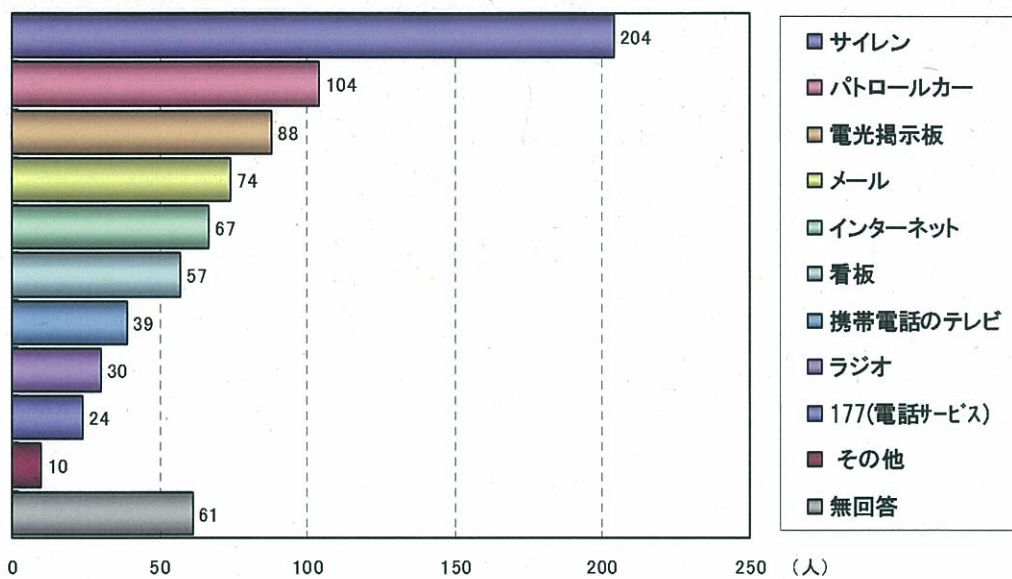


■ はい
■ いいえ
□ 無回答

Q14. 川で遊んでいるとき、雨や川の情報を知るために、あなたが便利だと思う方法を教えてください。(複数回答可)(大人のみ質問)

「サイレン」204名、「パトロールカー」104名、「電光掲示板」88名、「メール」74名、「インターネット」67名、「看板」57名、「携帯電話のテレビ」39、「ラジオ」30名、「177(電話サービス)」24名、「その他」10名、「無回答」61名と、「サイレン」が最も多かった。(有効回答数697)

「看板」57名に対して「サイレン」204名、「パトロールカー」104名、「電光掲示板」88名、「メール」74名と看板以外に対する要望も高いことが分かる。



2.4 その他

Q15. 看板に関する改善点やその他ご意見ございましたらお願いします。

1. 看板・文字・イラストの大きさに関するもの(全回答者数21名)

字が小さい、字を大きくした方がよいという意見が多かった。

- ①字が小さい・字を大きく:15名
- ②イラストが小さい・イラストを大きく:3名
- ③看板を大きくした方がよい:3名

2. 看板デザインについて

1) 内容・表現の理解しやすさに関するもの(全回答者数23名)

ごちゃごちゃしている、子供にも分かりやすくした方がよいという意見が多かった。

- ①ごちゃごちゃしている・もっとシンプルにしてほしい: 9名
- ②子供にも分かりやすい表現にした方がよい: 8名
- ③文字が多い: 5名
- ④分かりやすい・よいと思う: 6名

2) デザイン・配色に関するもの(全回答者数20名)

目立つ配色・分かりやすい配色にした方がよいという意見が多かった。

- ①もっと目立つ配色・理解しやすい配色にしてほしい: 12名
- ②文字・絵の配置が見にくい: 4名
- ③デザインがよい: 1名
- ④その他デザインに関して: 3名

3. 看板の記載項目について(全回答者数11名)

怖いイメージをもたせた方がよい、避難に役立つ情報を載せてほしいという意見が多かった。

- ①怖さが足りない・もっと怖いイメージを持たせた方がよい:6名
- ②避難に役立つ情報を載せてほしい:4名
- ③その他記載項目に関して:1名

4. 看板の設置場所・方法について(全回答者数11名)

看板の数を増やした方がよいという意見が多かった。

- ①看板の数を増やした方がよい:8名
- ②その他看板の設置場所・方法に関して:3名

5. その他の回答(全回答者数6名)

看板以外の情報伝達方法への要望が多かった。

- ①看板外の情報伝達手段への要望:2名
- ②その他:4名

2.5 調査結果のまとめ

水難事故防止看板について、河川利用者の属性、看板の見やすさ、内容の分かりやすさ等を調べるために河川利用者に対してアンケート調査を行った結果を以下に示す。

1. 回答者の属性に関するアンケート調査結果

- 日常的ではない利用者が全体の約7割
- 回答者の約9割が流域内住民であった
- 遠賀川の利用者はイベントによる利用が多い

2. 看板に関するアンケート調査結果

- 「文字の大きさ、見やすさ」について、分かりやすさに一定の評価は得ているものの、文字が多い、字が小さいという回答も多かった
- 「水遊びの際に気をつけること」や「山の方で雨が降ったら川が増水する可能性があること」について分かりやすいという回答が多かった
- 「携帯電話などで雨量や川の水位の情報がわかること」が分かりにくいという回答が多かった
- QRコードについて、20代～60代の幅広い世代で利用したいと回答があった
- 約3割の方が看板に気付くと思いますかとの質問に「いいえ」と回答している
- 約9割の回答者がこのような看板があった方がよいと回答している
- 「怖い」と回答した方の約8割が次の質問で「これからは天気気をつけて遊ぶ」と回答している

3. 水難事故に関するアンケート調査結果

- 約8割の方が水遊びの際に天気の変化に気をつけている
- 約2割の方が過去に急な増水を目撃した経験がある
- 避難情報の伝達方法について、「サイレン」に対する要望が最も強い

4. その他自由記述回答からのアンケート調査結果

- 子供にも分かりやすい表記にした方がよいという回答が多かった
- 洪水時の写真を記載するなどして看板に怖いイメージをもたせた方がよいという回答が多かった
- 看板脚部に高さが分かる目盛と既往の水位上昇量を記述してほしいという回答が多かった
- よい看板であるという意見が多かった